

普通4カ月も間があれば、編集部が「満を持して」とかなんとか、意気込んだ修飾語つきで「再登場」と特大ゴシツクのコピーをつけてくれるもんだが、このコーナーは、いつサボってもいいように「神出鬼没連載」の企画にしちゃったんで、そうはいかの間屋がなんとかなのだった。

モックン 実は昨日「モスラ」を見直したんやわ、昭和36年の。やっぱ昔の方がスゴいわ。カメラワークとかミニチュアワークとかが。「ワン・フロム・ザ・ハート」のラスベガスのセットな、ディーン・タブラリスの作った。あれ作るだけで1年かけよんねん。「未知との遭遇」で有名なグレッグ・ジーンもそうやど。ゆさたろう ジオラマでもコッタヤツ作る思ったら、何か月かかるもんなあ。モックン で「モスラ」も「キングコング対ゴジラ」もバヤリースの看板のシーンが有名やけど、ベガサスのマークがついたガス・スタンド…あれどこやった？ゆさたろう キグナス？モックン やったかなあ。そのガス・スタンドに幼虫が突っ込むシーンがあんにやけど、めっちゃ迫力あるしな……。ゆさたろう キグナスは白鳥やもんなあ。モックン それにな、地上でうごめく幼虫モスラを戦闘機から見たカットが多いねん。ほんでな……。西崎 あ、日石のスタンドだ、日本石油ゆさたろう そや、ベガサステモービルやんかなあ。ああ、よかった解決して。

のんびんだらりと再登場!!

総天然色

神出鬼没連載

ULTIMA

What a wasted and cult chattering!

ゴジラ対モスラ

ノスタルジーに浸ってちゃいけない。

©東宝 東宝出版 Gakken 近代映画社

Vol.4





